

保育おおさか

No. 422

平成 22 年 10 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

「保育バウチャー制度」など現状では困難

府の特区提案に国が回答

7月6日に大阪府から国へ特区提案された「認可保育所待機児童に対する保育バウチャー制度」「家庭的保育事業における要件緩和」について、国から大阪府への回答がありました。

バウチャー制度の提案に対しては、「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づき給付内容について検討することとされているため、取り組みを行うことは困難とされています。基本制度案要綱で、給付内容について幼保一体給付（仮称）、こども園（仮称）や小規模保育サービスなどの多様なサービスに対する給付とされていることがその理由です。

また、給付の仕組みは、利用したサービスの費用を確実に保障する仕組み（利用者補助方式）としており、現行の認可保育所以外の多様な保育サービスを利用者に対して給付するものであり、慎重な検討が必要とされています。

家庭的保育事業に関する提案に対しては、子どもの健やかな育ちを保障する保育に深刻な影響を与えるため、一定の質の確保が必要であり、基準の撤廃はできないとしています。

す。「家庭的保育の在り方に関する検討会」（平成 21 年 1 月 30 日～3 月 23 日）での議論の結果、9・9㎡以上である6畳程度を最低の面積としており、これ以上狭い場所での保育の実施を容認することは困難であると回答。

今回の回答については首相官邸の「構造改革特別区域推進本部」のホームページに掲載されています。なお、「家庭的保育事業における要件緩和」については、この国からの回答を受け、再度、府から提案が行われています。

平成23年度大阪府当初予算

エレベーター設置の整備補助、運営費負担金の拡充など府が国へ要望

先月号掲載の「平成23年度大阪府当初予算に対する要望」に対して、大阪府から回答がありました。保育部会からは、昨年10月から施行された「福祉のまちづくり条例」の中のエレベーター設置義務に関して要望しました（要望内容は先月号に掲載）が、府からの回答は以下のとおりです。



要望書を提出する永野部会長

●保育所における障がい児の受け入れ増加及び園庭開放など地域に開かれた保育所運営に対応するため、その経費について保育所整備補助制度の「特殊附帯工事費加算」の対象とするよう、また、設置者の負担軽減を図る観点から保育所運営費負担金を拡充するなど制度の充実を図られるよう、国に要望しているところであり、今後とも機会あるごとに要望してまいります。なお、府単独の整備補助につきましては、現状では困難であると考えております。



今やかわいい男性とは「イクメン」ならず、「イクメン」「カジメン」だとか。

育兒や家事に積極的な男性のことを表し、働く女性ばかりか、専業主婦にとってもありがたい男性の出現です。

少子高齢化の急速な進展により、出生率の回復と労働人口の確保という深刻な問題から、育児休業法の改正が行われましたが、この「イクメン（プロジェクト）」は、育兒にもっと関わりたい男性への環境づくりに社会全体で積極的に取り組んでいくプロジェクトであり、厚生労働大臣が推進しているものです。育兒・介護などに関する規則の中には、「産休パパ」という言葉で表現されているものもあります。

また、シニアカレッジやカルチャーセンターでは保育に関する専門知識の習得にと、男性高齢者の参加も増えているらしく、「イクメン」に年齢制限はないみたいです。

家庭生活の安定と、老化防止に効く家事・育兒。シニア・シルバー世代の積極的参加を応援します。

(編集委員 Y・N)

子どもの虐待予防を地域で取り組む

— 大阪子どもネットワークが第1回セミナー —

「地域で取り組む子ども虐待の予防」をテーマに8月21日、大阪府社会福祉会館で「大阪子どもネットワーク第1回セミナー」に参加しました。

第一部のシンポジウムでは、虐待防止に取り組む機関や団体がシンポジストとして実践報告しました。

まず、地域で虐待の防止に関わる岸和田市民生委員協議会の泉本法子氏が同市での実践を報告しました。平成16年に各小学校区に主



左：泉本氏 中：阪本氏 右：川本氏

任児童委員1人が配置され、「こんにちは赤ちゃん」訪問、小地域ネットワーク活動「子育てサロン」など、地域に根ざした活動が可能となり、また、泉州地区（8市4町）の主任児童委員が集まり「虐待防止プログラム研修会」なども実施されています。

次いで、地域への子育て支援のための相談や里親支援機関としての役割を担う「子ども家庭支援センター清心寮リーフ」の阪本博寿氏は、児童養護施設の子ども（小学校低学年）を対象に実践されている暴力防止プログラム「セカンドステップ」について、社会的スキルや問題解決能力を身につける、怒りや衝動のコントロールできるようにすることを目的とするプログラムの内容を報告されました。

また、早くから電話相談活動に取り組んでいたNPO法人児童虐待防止協会から川本典子氏が報告。取り



熱心に説明を聞く参加者

わかりやすかったと好評 よい子ネットパソコン操作説明会

組みを通して「子どもの虐待ホットライン」を通して親のサポートや機関との連携も密にする中、子どもや家庭をとりまく地域の状況の変化について、川本氏は「子育てや子の育ち自体がわからない親、近隣や家族関係にストレスを感じている親が増えてきている」と指摘されました。

第二部では、参加者がグループに分かれ、それぞれの立場で活動交流を行いました。グループでの意見交



活発な意見交換

換では「虐待防止は地域から地域のつながりに勝るものはない」という意見で一致し、地域に根ざし、地域に密着した保育園だからこそ虐待の予防や早期発見の役割を担うことができる可能性があることを改めて確認できました。

（三ツ島保育園K・O）

「よい子ネットパソコン操作説明会」（保育部会主催）が8月26日、NECP Cカレッジパートナー校東梅田校で行われました。今回は、実際にパソコンを使用した初めての説明会でした。

「パソコンを見ながらの

操作だったので、わかりやすかった」「以前、説明会のあとで園に戻って操作する際よくわからなかったが、実際にパソコンを使いながらの説明で理解しやすかった」などの感想が寄せ

◎本紙9月号で八尾私立保育連盟の園長研修会について掲載しましたが、各地域でも地域貢献事業の取り組みが進められています。府内全域での実施に向け、10月以降各市町村またはブロックでの説明会を開催する予定です。地域貢献事業推進委員会のメンバーが中心となって各市町村を行脚し、事業の概要や必要性などについて説明。意見交換も行いたいと思います。

◎「保育園における地域貢献事業」が関西テレビ「教えて！みんなのギ

各地域で説明会・意見交換予定 地域貢献事業をテレビ番組で紹介

● 地域貢献事業推進委員会 ●

モン—大阪府議会なう—で紹介されます。大阪府議会の広報番組で、児童虐待の取り組みの中でスマイルサポーターが紹介されます。放送日は10月10日（日）11時45分からの予定です。ぜひご覧ください。

◎すでに各園にはご案内済みですが、今年度の地域貢献支援員（スマイルサポーター）養成研修を10月18日（月）、25日（月）に開催いたします。

同じ内容を2回実施いたしますので、どちらか1日を選択し、ご参加ください。

られました。

「パソコン操作はちょっと」という方も、全ての機能を活用するのではなく、自園にとって必要な機能から活用ください。

（事務局）

みんなで食べるとおいしさ倍増 誕生日にスペシャルメニュー

日々の遊びに満足感と達成感
親子の心の「ふるさと」に

茨木市

東さくら保育園



子どもたちが主人公！

平成22年4月に民営化された定員90人の東さくら保育園は、住宅街と公園に隣接した平屋建ての保育園です。

「子どもが主人公」「子どもたちの心に残る保育」を目標にされています。

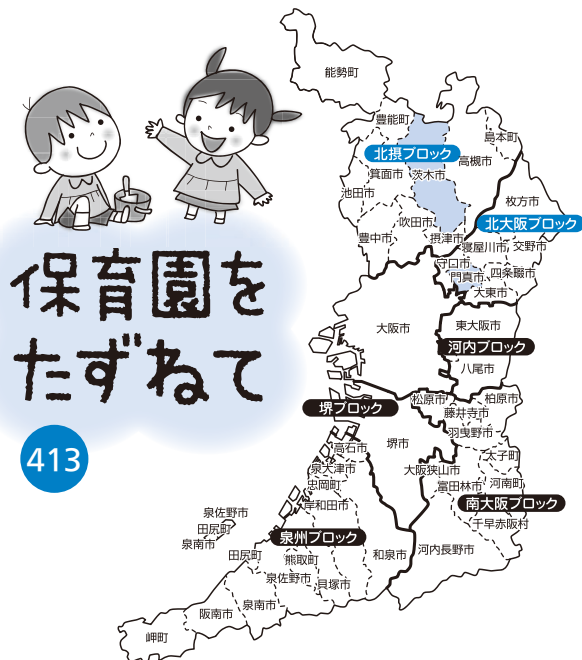
園の昼食は「おいしい食事」より「おいしく感じる食事」を心がけており、「おいしい！楽しい！もっと食べてみたい！」と感じることを大切にされています。パーティーやイベントといったいつもと違う雰囲気の中で、友だちと一緒に食べるとおいしさ倍増です。

また、子どもの誕生日はその日にお祝いをし、前日と当日に誕生日のお知らせと写真の掲示をしています。みんながよく見える玄関に掲示してあるので「今日は○○ちゃんの誕生日やねんね。おめでとう！」とたくさんのお友だちがお祝いの言葉をかけてくれるそうです。

お昼ごはんはみんなと同じメニューですが、スペシャル誕生日盛り付けなので、まさしくその日は「子どもが主人公」。誕生日を「お祝いしてもらおう」「お祝いすることから「命の尊さ」や「自分も友だちも

園生活・遊び・友だちとの関係の中で、思う存分遊ぶ満足感や達成感をもち、もっと遊びたいという意欲が持てる子どもたち。見て、触れて、五感で心に刻み、六感で感じたことが思い出になり、園での生活や遊びが子どもたちの原風景になるとうれしいとのこと。

子どもや保護者の心の「ふるさと」でありたいと願う心温まる保育園でした。（編集委員M・K）



保育園を
たずねて

413

めぐみ保育園は、門真市の東端にある定員120人の保育園です。社会福祉法人として認可後33年を経過していますが、社会福祉事業として保育に携わってきた歴史はたいへん古く、昭和27年にまで遡ります。

第二次世界大戦が終わった後、日本が戦後復興の頃、同園近くの「福田寺（寺院）」の本堂で地域住民の子どもたちを預かることから始まりました。当時は定員30人でしたが、その後の高度経済成長に伴う人口流入が始まり、多くの住宅地ができ、現

在に至っています。

開園58年を迎えた歴史ある保育園ですが、かつては広く感じた園庭も園児数の増加で手狭に。

園庭を確保するため、夏のプール遊びは屋上のテラスで行われています。そこから見える景色と空を眺めながら、心地よい風を受けての水遊びは意外と贅沢なのかもしれません。

生活発表会は講堂で行われており、限られた敷地のなかで、現園舎の建設に際して講堂を確保していたことは最良の選択だったようです。それでも、当日は満席で、廊下に立ち見が出るほど。今では、前列を入替制にするなど、できるだけ多くの保護者に見てもらえるように工夫が凝らされています。

正門横のお地藏様が園児の送迎を見守っておられます。前園長先生（現理事長）が建てられたお顔がとても優しいお地藏様で、「子どもたちが健やかに成長しますように、けがや事故に合いませんように」との願いが込められています。

ここを通る度にお参りをするご家族もおられます。その光景を想像すると、薄れつつある日本の原風景を思い出させてくれます。



▲隣の家の屋根が見えるプールです
◀何をお願いしているのかな

お地藏様とともに願う
子どもたちの健やかな成長

門真市

めぐみ保育園

存分に遊べる緑豊かな園庭 思いやりと感謝を大切に

地域にひらく多目的ホール
「はとぼっぽ竜華」開催

八尾市

みよし保育園



広々とした園庭と遮光ネット

JR久宝寺駅から徒歩10分の場所に（社福）竜華福祉会「みよし保育園」があります。

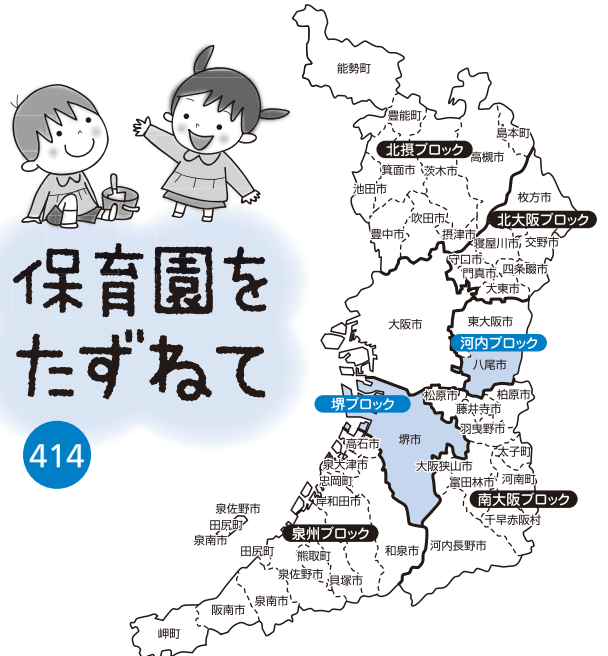
7年前に園舎が建て替えられた創立40周年目前の歴史ある保育園です。法人理念は「地域に愛される保育園」「地域とともに歩む福祉施設」であり、「保育園はあたり前の生活をあたり前に」をモットーとしています。また、特別養護老人ホーム「ホーム太子堂」の運営にも努力されています。

緑豊かな園庭ですが、暑さや紫外線対策として一面に遮光ネットを張られ、三好理事長手作りの遊具がたくさん設置されています。子どもたちのふれあいまつり、乳児クラスへの応援七夕まつり、水遊び、運動会、かるた大会、お別れ会などの戸外活動も促進できるように随所に工夫がされています。

年間を通して行う縦割り活動はもちろん、思いやりの心と感謝の気持ち大切にする保育を行うため、クッキング保育・宿泊保育・買い物体験など友達と一緒に行動し、普段ではできない体験をすることで一人ひとりが達成感を味わえるように保育プログラムを工夫しています。

また、地域貢献事業として「民生委員・地区福祉委員との連携」による保育園の多目的ホールを活用した地域子育て支援「はとぼっぽ竜華」を開催。毎回50組ほどの親子が参加し、楽しく有意義な時間を過ごされているそうです。

園児中心の活動とともに、在宅の子育て支援活動にも拡大することや保育園単独の取り組みから地域と協働していくことで「社会福祉法人としての役割と責任」を果たしていきたいとの熱意を語っていただきました。（編集委員S・S）



保育園を
たずねて

414

東 三国丘保育園はJR阪和線堺市駅、南海高野線三国ヶ丘駅から徒歩15分の住宅地に立地しています。

平成16年4月に堺市立東三国丘保育所が民営化し、定員120人で開園。今年で7年目を迎えます。

地域の福祉ニーズに柔軟・迅速・誠実に応えること、地域社会の福祉向上に役立つことを園の理念と使命に掲げています。

「ひとりひとりを大切に育てます」を保育方針に「礼儀正しく、たくましく、感受性豊かな子ども」を保

育目標として、保護者と一緒に考え、日々の保育に取り組まれています。子どもの育ちを見てもらう機会を増やすため、運動会、劇遊び、作品展などの行事は保護者が参加しやすい土、日、祝祭日に開催しています。

また、日本の伝統文化でもある米作りに取り組まれています。地域の方々の協力を得て、園庭の角に設けられた田んぼで、保護者と一緒に春の田植え、秋の運動会の後に年長児と保護者で稲刈り、身近な道具で脱穀し、一升瓶と棒で糠を取って精米。園庭で新でご飯を炊き、年長児がおにぎりにして、全園児で食べられるそうです。



園庭の田圃

地域の人たちと活発に交流 行事日設定にもひと工夫

園庭で子どもたちと米づくり
子どもの「成長する力」信じて

堺市

東三国丘保育園

また、特別養護老人ホームの高齢者との交流や夏祭り、校区サークルの支援など、地域の人たちとの交流も活発に行われています。

園生活を子どもたちと共にする保育士も、保護者と同世代のよき相談相手になれるよう、自ら企画したセミナーや勉強会など日々の研鑽に励んでおられます。

「地域の皆様とともに、一人ひとりの子どもが持っている『成長する力』を信じ、かけがえのない『今』を大切に保育を進めていきたい」と、斉藤三枝園長は話していました。（編集委員T・S）



●感染症対策アンケートより

子どもたちと取り組む 感染性疾患への対応

「感染症対策アンケート」に寄せられた
回答で興味深い取り組みをされている園
に寄稿をお願いしました。

園独自の「健康観察カード」

— 園児と職員全員に配布

吹田市

佐井寺たんぽぽ保育園

昨年5月にインフルエン
ザの集団感染が大阪府内で
確認されました。吹田市か
ら公立保育園の1週間の休
業の通知があり、当園も法
人として1週間の休業を決
定しました。

これを機に当園では、ど
んな対策ができるのか話し
合い、「園舎内外を問わず
アルコール消毒を徹底する
べきだ」「保護者へマスク
の着用を推進しよう」「殺
菌・加湿作用がある空気清
浄機を設置しよう」など、
職員からさまざまな提案が

出され、その中で園独自の
健康観察カードを作成する
ことになりました。

これは朝夕の体温、咳や
鼻水などの症状に加え、お
休み中の過ごし方などを
チェック項目として記入し
てもらうもので、各担任が
各家庭へ依頼文と併せて配
布しました。

保護者も感染症に対して
の知識や対策に敏感になっ
ていただけたようで、「家
族の中でインフルエンザに
感染した者がいます」「勤
務先の会社でインフルエン

ザが流行しています」など、
積極的な報告がありまし
た。

また、家族内でインフル
エンザに感染した子どもが
いれば特に注意深く検温な
どの経過観察が行えます。

健康観察カードを使用す
ることで、子どもだけでは
なく、子どもの現状をこま
めに把握することが可能に
なり、保育士も保護者に対
してご家族の様子を聞きや
すくなりました。何より安
心して子どもを預かること
ができます。

その後、市役所から健康
観察カードが配布され、当

園もそちらに変更すること
にしました。感染症を広げ
ないため、保護者への協力
をお願いしました。市役所
の保育課から、参考資料と
して吹田市の公立保育園で
配布されたインフルエンザ
の対応文章も参考にし、対
策だけでなく対応について
も学びました。

インフルエンザの発症の
仕方には個人差があり、一
様ではありません。だから
こそ、日頃の健康観察は今
後も大切なものと改めて
感じました。

(佐井寺たんぽぽ保育園

M・M)

健康観察表		名前						
	日時	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	
児童健康欄	体温昨夕		℃		℃		℃	
	体温今朝		℃		℃		℃	
	咳	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	鼻水	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	のどの痛み	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	嘔吐	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	下痢	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
	その他 食欲なし・機 嫌不良等普段 と違う様子が あれば記入。							
保護者	良好	☐ 良好	☐ 良好	☐ 良好	☐ 良好	☐ 良好	☐ 良好	
	その他 症状							
確認欄								

健康観察カード

全国保育士研究大会 のお知らせ

平成22年11月19日(金)・20日(土)、
三重県総合文化センターにおいて、第
44回全国保育士研究大会が開催されま
す(主催:全国社会福祉協議会、全国保
育士会、三重県社会福祉協議会他)。

開催要綱、参加申込書などは、保育士
会事務局(大阪府社会福祉協議会・施設
福祉部)までご連絡ください。

電話 06-6762-9001

「感染症対策 アンケート」 のまとめ

8月号から今号にかけ
て、アンケート結果から保
育園の具体的な対策までご
紹介させていただきますし
た。

紹介した対策以外にも多
くの保育園が取り組んでい
る対策として

- ・空気清浄機の設置
- ・こまめな換気
- ・マスクの励行
- ・うがい、手洗いの徹底
- ・検温
- ・アルコール消毒

・予防接種の推進
・職員へのマニュアル周知
などがあげられます。
改めて対策を行うのでは
なく、日々の対策が重要で
あり、今回紹介した対策と
同様、大切な感染症対策の
取り組みとなっています。
ぜひご参考ください。

次号は、男性保育士につ
いて行った読者アンケート
の結果を掲載させていただきます。
男性保育士にしかできな
いこと、期待していること、
男性ならではの発想や考え
方、男性保育士を採用した
理由などについても掲載す
る予定です。乞うご期待。

(事務局)

泉州

沖縄問題の正しい理解と共感に向けて

ー1泊2日沖縄研修
9月9日・10日、1泊2日の沖縄研修を行い、42人が参加しました。

県立平和祈念資料館では、沖縄戦に至るまでの歴

史、27年間にも及んだ米国統治、基地問題や人権抑圧、

日本復帰運動など、住民の視点からの展示を見学。特

に住民の体験証言の数々は読み始めると離れられない

ほど生々しいものでした。

「沖縄戦記録フィルム1フィートの会」副代表の石

川元平氏が「沖縄戦より何を学ぶか」と題して講演。



晴天の下、平和を願う

い「軍隊と基地のあるところが戦場になる」との思いから、1972年の本土復帰に至る「祖国復帰運動」の中心メンバーとして活動してこられました。普天間基地問題にも触れ、「何故沖縄なのかについて皆さんにも考えてほしい」と

熱く語られました。その後、ひめゆりの塔、

河内

保護者に伝えたい
離乳食の知識

ー東大阪市私立保育会研修会

東大阪市私立保育会は9月17日、「保護者に伝えたい離乳食の知識」をテーマに研修会を開催し、東大阪

市保健所健康づくり課の管理栄養士・丹部美絵子氏か

ら、保健センターの4カ月児健診における離乳食に関

する指導と情報提供、その後定期的に行われる離乳食講習について講義を受けま

した。

国では、乳幼児の栄養調

査を10年毎に行い、社会の

変化に応じた子どもの健康と成長発達の支援を行うため、「授乳と離乳の支援ガイド」を平成19年3月に改訂しました。保健センターではこれを活かして乳幼児を育てる親を指導し、保育所にも協力を求めています。最近の子育て支援の現場でも離乳食に関する質問は多く、一方でアレルギー児の増加や市販のベビーフードの充実など、親への正しい情報提供の必要性を高まっています。

わかりやすい表現や無理のない進め方、親子の心理面にも配慮された「支援ガイド」の改訂から3年、「離乳開始前の果汁やスプーン慣らしの不必要」「完了頃の断乳も離乳食の進み具合に合わせる」といった改訂の注目点は既に保育現場で実践されていますが、丹部氏はその目的や意味をいねいに解説されました。

今回の研修には保育士だけでなく栄養士も参加していました。それぞれ保育の現場、親を支援する現場にいることから、よい学びの場となりました。

(麦の穂保育園K・M)

旬

近隣つきあいなくなりつつあるなか
久々に感動憶えた小さな秋

康な体と人様のお役に立てることを喜びに感じられる心を与えてくれた両親に感謝しております」とあった。両親への感謝！？んっ、両親へ？うーん……今、親殺し・子殺しが珍しくない世情に、この両親への感謝の文面を見た時、育った環境

より場所がない。800坪あるが、仮設園舎が園庭を占拠。残りは保育室と高い塀に囲まれた建設現場で、畑の上には仮設の倉庫・花壇には洋ランの台にカトレアが座っている。プラントレーの置場もない（プランターでは自分の思うように育たない

上げた活に限る）。釣人くらいしか口に入らない、サバの生き腐りと言うほど足が早い。足が早いと言うのは、腐りやすいということとすず、お間違えの無きよう。

園には洪柿を植えてあり、例年沢山実が成る。というより

成らせる（魚のアラが肥料）。近隣のお年寄りが「田舎では自分で干し柿にしてい

て……と。うーん、どうぞ持つて帰りなはれ！嬉し

そうにお持ち帰り。「この前、園長さんにいただいたもの上手にできました！」とご報告に

来ていたのだくも、近隣の付き合いがなくなりつつある中で、ええかな？地域の食物セ

ンター(?)を旨指す私にとっては(笑)。(H・N)

やと秋色の兆しが見えてきた。今年の暑さ・長さは記録モノ。秋の収穫にも影響があるだろう。半袖にベストか長袖を捲る爽やかな心地よい季節が、最近だんだんと短くなるような気がする。地球温暖化の影響やろ

な。民主党の代表選挙も終わり、政治を放つたらかした期間の穴埋めに力を注いで貰いたい。

先月、感動したことが一つ。私は、携帯に番号・住所・生年月日など、小耳に挟んだ情報

はマメに即入力しておく。その日になると「〇〇さんの誕生日です、お祝いメールを送りま

しょう！」と出てきたので、日頃より敬愛している方にメールを送った。返信には、お礼と健

親の徳育・薫陶を受けてこられた方の言葉。久々に感動を憶えたひと時、宝物をいただいた気持ちに。

今、我が園は改築中で、ぼちぼち秋植え球根の準備をと思つたが、植える花壇がないという